

株式会社 J-オイルミルズ

株主通信

第20期 中間

2021.4.1

2021.9.30

TRANSFORMING
FOR GROWTH

JOYL
Joy for Life

TOP Message

社長メッセージ



本年よりスタートする第六期中期経営計画では、「おいしさ × 健康 × 低負荷」をキーワードに、ステークホルダーの皆様に向き合い、新たな価値を創造し、2030年度に向けて成長を遂げるよう経営の舵取りを推進します。

代表取締役社長執行役員

八馬 史尚

財務ハイライト

2021年度 2Q実績 ^{※1}	売上高	940億59百万円	前期比 20.1% ↑
	営業利益	57百万円	前期比 97.9% ↓
	経常利益	2億30百万円	前期比 92.2% ↓
	親会社株主に帰属する 四半期純利益	7億68百万円	前期比 63.8% ↓
2021年度 通期予想 ^{※2} (11/4修正予想)	売上高	2,050億円	前期比 24.4% ↑ 当初予想比 ±0% →
	営業利益	26億円	前期比 61.1% ↓ 当初予想比 48.0% ↓
	経常利益	33億円	前期比 55.3% ↓ 当初予想比 38.9% ↓
	親会社株主に帰属する 当期純利益	33億円	前期比 37.2% ↓ 当初予想比 34.0% ↓
	EPS ^{※3}	100.09円	前期比 59.53円 ↓ 当初予想比 51.84円 ↓
	配当額 ^{※3}	50円	前期比 / 当初予想比 ±0円 →

※1 「収益認識会計基準」の適用により、売上高は528百万円減少し、営業利益、経常利益はそれぞれ14百万円増加しております。

※2 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

※3 2021年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割したため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益 (EPS) を算定しております。

平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルスに罹患された方とご家族、関係者の皆様に対し、お見舞いを申し上げるとともに、日々治療・予防にあたってくださっている医療関係者、行政をはじめとする関係各位に深く感謝いたします。

当期の概況

2021年度(2022年3月期)の第2四半期累計期間(当中間期)の連結業績は、売上高940億59百万円(前期比20.1%増)、営業利益57百万円(同97.9%減)、経常利益2億30百万円(同92.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益7億68百万円(同63.8%減)となりました。

新型コロナウイルス感染症について、ワクチン接種が進んだことや各種政策の効果などもあり一部持ち直しの兆しはあるものの、景気回復の足取りは鈍く依然として不透明な状況が続いています。また油脂製品の主な原料である大豆や菜種およびパーム油など購入油の調達価格は、引き続き高い水準で推移しています。このような状況のなか、当社は原料コスト上昇に見合った販売価格の改定や、成長ドライバーとなる高付加価値品の拡販、継続的なコストダウンを進め収益基盤の強化に努めましたが、増収減益となりました。また特別利益では、2021年5月の株式会社J-ケミカル株式譲渡完了に伴い関係会社株式売却益を計上し、特別損失では油脂加工品事業の事業資産について減損損失等を計上いたしました。

通期の業績につきましては、主な原料である菜種相場やパーム油相場のさらなる高騰や菜種新穀原料の油分低下による歩留悪化、為替相場の円安ドル高進行による輸入原料価格の上昇など、足下の事業環境はさらに厳しい情報が予想されます。引き続き原料コスト上昇に見合った販売価格の改定

や高付加価値品の拡販、コストダウンや経費削減を進めてまいります。販売価格改定の実現が想定より遅れていることや上述のような更なるコスト上昇なども想定されているため、2022年3月期の業績予想を修正させていただきます。

なお、1株当たりの中間配当金は、安定的で適正な利益配分を行う基本方針の下、1株当たり25円、通期では50円を予定しております。

2030年度に向けて

当社は2021年4月に、新企業理念体系「Joy for Life[®] 一食で未来によるこびを」を策定し、当社とステークホルダーの皆様をつなぐコミュニケーションブランド **JOYL** (ジェイオイル)を導入しました。新企業理念体系の策定にあわせ、2030年度までの目指すべき姿を描き、その到達への道筋として2021年度から2024年度までを対象期間とする第六期中期経営計画「Transforming for Growth」を立案し、公表いたしました。

第六期中期経営計画では、第五期中期経営計画で進めてきた基盤構築および課題を踏まえ、2030年度に目指すべき姿を描き、2021年度から2024年度までの期間を将来の成長実現の為の変革期としてとらえています。

当社の強みは、BtoBを中心とした素材、技術力、顧客接点・リーチ力、そしてそれを届け、お客様の声に真摯に向き合い提案することで課題解決を実現する、ソリューション力にあります。今後はその強みを一層磨き、マーケティング、研究開発を強化し、生産、営業と融合することで、「おいしさデザイン[®]」企業として「おいしさ」・「健康」・「低負荷」をお客様への提供価値として最大化していきます。

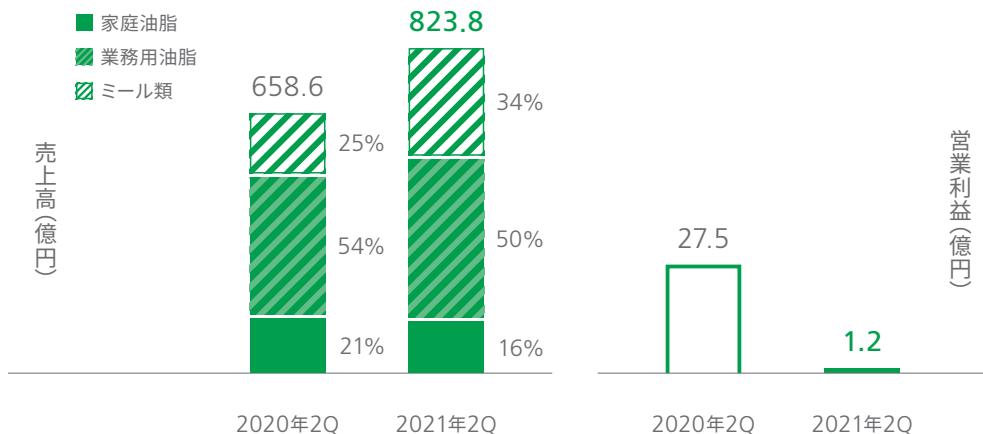
株主の皆様には今後とも変わらずご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

Business Overview

油脂事業は主に海外から穀物を輸入し、油脂と油糧(ミール)の2つに加工して販売する当社の主力事業です。私たちは「あぶら」のプロとして、「おいしさデザイン[®]」を実現するため、安心・安全を基本に、幅広い用途に使われる汎用品から、「あぶら」ならではの調理・調味・健康の各機能を有した高付加価値品までを幅広く展開し、おいしさだけでなくお客さまや社会の課題解決に貢献することをめざしています。

油脂事業

売上高/売上高構成比 **823.8億円/88%**



売上高
940

家庭用油脂



業務用油脂



ミール類



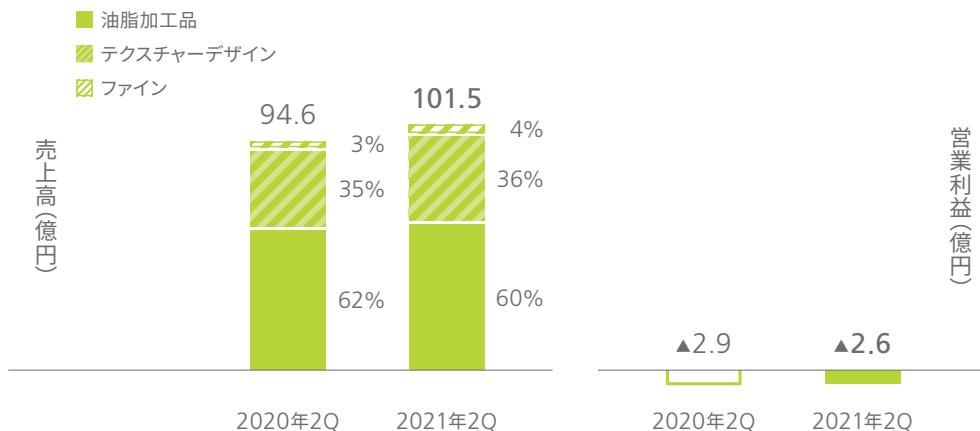
2021年度

6億円

「スペシャルティ」には「当社ならではの付加価値の高い製品を提供したい」という思いを込めています。あぶら、でんぷん、たんぱく等の植物性原料に独自の加工技術やアプリケーション技術を用いた製品によって、「おいしさ・健康・低負荷」をテーマとした価値提供を国内外で実現し、社会課題解決に貢献することをめざしています。テクスチャーデザイン事業・ファイン事業・油脂加工品事業の3つの事業を展開しています。

スペシャルティフード事業

売上高/売上高構成比 **101.5億円/11%**



油脂加工品



テクスチャーデザイン



ファイン



New Product NAVI

新商品ナビ

食で未来に
よるこびを

おいしさ×健康×低負荷で
人々と社会と環境へのよるこびを創出

家庭用

JOYL「AJINOMOTO」オリーブオイルエクストラバージン」シリーズの新商品

開封後もフレッシュな風味や香りを楽しめる鮮度キープボトルの
中容量サイズ(326g)が登場 2021年8月下旬～

JOYL「AJINOMOTO」オリーブオイルエクストラバージン」シリーズ
に新たに“326g鮮度キープボトルタイプ”が加わりました。本シリーズは、1996年に発売を開始し、今年で25周年を迎えます。指定農園の原料だけをしぼった風味際立つエクストラバージンオリーブオイルで、日本の食卓や、素材・料理に合うよう、苦味と辛味を抑えて香り豊かに仕上げました。



326g 鮮度キープボトル 70g 瓶 150g 鮮度キープボトル 200g 瓶 400g 瓶 600g UDエコベツト

アメリカ油化学会の「オリーブオイル官能評価パネル」として 4年連続認定されました

アメリカ油化学会(AOCS)^{※1}が毎年行っている「オリーブオイル官能評価に関する技能評価試験」にて、当社の社員であるオリーブオイル官能評価チームが「オリーブオイル官能評価パネル^{※2}」として4年連続でAOCSの認定を取得しました。試験では、年に4回、合計16種類のオリーブオイルのサンプルについて、官能評価を行います。今回、日本含む5カ国13機関が認定を受けた中で、当社は最高成績である1st Place(1位)を獲得しました。



- ※1 AOCS(American Oil Chemists' Society):イリノイ州アーバナに本拠を置く、油脂・脂質、界面活性剤およびそれらの関連物質に関する科学と技術の進歩を図り、産業の発展や生活と健康の向上に寄与することを目的とした国際団体。
- ※2 国際オリーブ協会が規定する手法に準拠した当社独自の識別能力試験に合格し、定期的な訓練などにより鑑定能力を維持した鑑定士を集めたオリーブオイルの官能評価を行うグループ。

CM情報

JOYL「AJINOMOTO」オリーブオイル」のイメージキャラクターを務める中条あやみさんを起用した新TV-CMを2021年10月中旬より全国で放映しています。今回は、「ポパイTM」のガールフレンド「オリーブオイルTM」に扮する中条さんが、寒い季節にぴったりな熱々の「カマンベールアヒージョ」を「ポパイTM」に振る舞い、オリーブオイルの魅力をお伝えしています。



©Hearst Holdings, Inc.



ブランドサイトはこちら

家庭用

紙パック製品で環境・お客さまに“JOY”を

JOYL「AJINOMOTO」一番しぼりキャノーラ油

JOYL「AJINOMOTO」純正ごま油 2021年8月下旬～

紙パックを採用した環境配慮型商品を2種類発売いたしました。今後もサステナブルな社会実現に向け、環境配慮型商品の開発・販売を通じて、プラスチック廃棄物やごみ容積の問題や地球温暖化、環境汚染などの諸課題の解決に貢献してまいります。



紙パック製品の特長

環境への配慮

1 プラスチック使用量の削減^{※3}

約**60%**減

3 フードロスの削減

賞味期限 **1年^{※3} → 2年**

容器の酸素バリア性・遮光性を高め、賞味期限延長を実現しました

2 CO₂の削減^{※3}

JOYL「AJINOMOTO」
一番しぼりキャノーラ油

約**34%**減

JOYL「AJINOMOTO」
純正ごま油

約**26%**減

4 ゴミ容積の削減

容器を小さく折りたためます



利便性の向上

1 ダブル構造のキャップを採用

油がたれにくく、用途に応じて注ぐ量を変えられるダブル構造のキャップを採用しています



2 容器を工夫



容器の側面2ヶ所に、持ちやすい「エンボス加工」「持つ位置ガイド」採用

廃棄時にたたみやすい「折りたたみ線」

3 省スペース化

コンパクトな四角い容器のため、保管に場所をとりません^{※3}

※3 従来の同容量帯容器との比較



J-オイルミルズ公式
オンラインショップ

J-オイルミルズ オンラインショップ 検索

スマートフォンからはQRコードよりウェブにアクセスいただけます▶



Topics

トピックス



植物生まれの100%Vegan(ビーガン)^{※5}ブランド

ビオライフは、世界50カ国以上で販売されているプラントベースチーズとプラントベースバターの世界有数のブランドです。

原料に、乳やナッツを使用せずココナッツオイルを使用することで、おいしさを実現しています。植物由来成分の抽出により、プラントベースチーズは、チーズのような香りや味わい、食感を、プラントベースバターは、まろやかでコクのある優しい味わいをお楽しみいただけます。さまざまな料理やお菓子、パンに塗ってお召し上がりください。

Violife
100% Vegan

ビオライフ ブランドページはこちら



- ※1 バターやチーズなどの乳製品を植物性の原材料で代替した製品
- ※2 プラントベースチーズ：植物性チーズ代替品
- ※3 プラントベースバター：植物性バター代替品
- ※4 発売エリア：東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、群馬県、栃木県、茨城県
- ※5 動物由来の原料未使用

Upfield™ × JOYL

アップフィールド社とのパートナーシップ締結
乳系プラントベースフード^{※1}を新発売

当社は2021年5月、Violife(ビオライフ)ブランド製品の独占輸入・販売契約をアップフィールド社と締結し、今秋から、プラントベースチーズ^{※2}とプラントベースバター^{※3}の発売を開始いたしました。家庭用製品は本年9月より関東地方1都6県^{※4}にて販売を開始し、年内には大手ECサイトからも購入できるよう準備しております。また、業務用製品は10月下旬より全国販売しています。

Violifeを使ったレシピ



きのこの豆乳グラタン



ベジサンド



レアチーズ風ケーキ



トマトとズッキーニのタルティユヌ

ビオライフ レシピの詳細はこちら



J-オイルミルズのESG活動に対する外部評価

ESGへの取り組みを経営上重要な課題とし、
経済、環境、社会・雇用環境、すべてにおいてサステナビリティを追求し、
ESG経営の推進に積極的に取り組んでおります。

当社のESGへの取り組みや外部
評価についてはこちらの当社
ウェブサイトをご覧ください



FTSE Blossom
Japan

ESG投資指数

FTSE
Blossom
Japan Index

構成銘柄に初選定

東洋経済新報社

SDGs
日本を代表する
500社

208位にランクイン

東洋経済新報社

第15回
CSR企業
ランキング (2021年版)

約1,614企業中
296位にランクイン

2021日本パッケージングコンテスト

JOYL「AJINOMOTO さらさら[®]キャノーラ油」350gペットの
簡易開封段ボールが「輸送包装部門賞」受賞

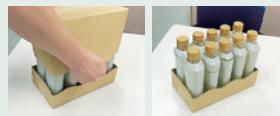


簡易開封段ボールの特徴

輸送・保管用途に加え、SRP[®]を導入し、指で簡単・きれいに開封できる、陳列トレーとしてそのまま棚に設置できるなど、お客様の店頭での品出しや陳列作業の負荷軽減・時間短縮が期待されます。また、当社独自の形状を採用し、箱側面の開封部の膨らみを抑え、積載時の荷崩れ・製品破損防止につなげました。

※SRP: シェルフ レディ パッケージ

側面に指を入れ、外側に開いてミシン目を切り離すと簡単に開封できます



箱に荷重が掛かった時に力を逃し、開封口が膨らむのを抑制します



Topics

トピックス

自社製品で環境課題の解決に貢献

当社の業務用油脂製品「長徳®」キャノーラ油 16.5kg缶は、フライ調理において通常のなたね油との比較による20%のCO₂排出効果が認められ、国際規格に準拠した認証であるCFP (Carbon Footprint of Products) マーク^{※1}を取得しました。

「長徳®」シリーズの製品は、当社独自技術「SUSTEC®」により、おいしさそのままに、通常の油と比べて使用期間を3割長持ちさせることが可能です。

油が長持ちすることで、天然資源である原料(穀物)の使用量を減らすだけでなく、サプライチェーン全体での活動の抑制につながります。

今回、「長徳®」キャノーラ油の環境に対する影響を調べるため、原材料調達、生産、流通、使用・維持管理、廃棄・リサイクルなどのサプライチェーン全体において排出されるCO₂の削減量を算定した結果、従来のなたね油^{※2}と比較して約20%削減することが分かりました。現在、当社独自技術「SUSTEC®」を活用した他製品につきましてもCFP認証を申請中です。今後も環境への配慮、オペレーションコストの低減や労働環境の改善など、サステナブルな社会の実現への貢献を実現していきます。

※1 CFP (Carbon Footprint of Products) マーク: SuMPO^{※3}が運営する第三者認証で、CO₂の見える化を推進し、その削減を目指すことを目的とするエコリーフ環境ラベルプログラムで取得できるマークです。

※2 JOYL「AJINOMOTO」さらさら®キャノーラ油

※3 一般社団法人サステナブル経営推進機構 (SuMPO): 「企業経営」の視点から様々な社会課題を克服する方策を模索し、持続型の新たなビジネスモデルの構築に資する「サステナブル経営」を推進することで「心豊かな未来」の実現を目指す組織。

CO₂排出量
(モデル店舗における1年間の油使用量に対するCO₂排出量)

「長徳®」キャノーラ油 16.5kg缶

2,116kg-CO₂e/年

従来のなたね油^{※2}

2,630kg-CO₂e/年



JR-BE-20002C

CO₂の「見える化」カーボンフットプリント

https://www.j-oil.com/sustainability/materials/cfp_data_chochotokutoku.pdf

CO₂削減量の算定方法の詳細につきましては、こちらからご覧いただけます



サステナブル経営推進機構 (SuMPO)^{※3}からのコメント

今回、J-オイルミルズ様が「長徳®」について、脱炭素化社会への貢献を裏づける第三者検証型のカーボンフットプリントを取得されたことは、まさに業界をリードする活動であると認識しております。これは菜種や大豆等の原料を大切に使用する製品技術とも言え、農林業分野が世界の温室効果ガス排出量の1/4を占める中で、このように資源生産性を高めつつ脱炭素化社会に貢献してゆく製品こそが今後ますます重要となります。引き続き事業と一体となったESG経営をさらに推進されることを期待します。

一般社団法人サステナブル経営推進機構 (SuMPO)
カーボンニュートラル事業部長 神崎昌之様

会社概要

商号	株式会社J-オイルミルズ J-OIL MILLS, Inc.
本社所在地	〒104-0044 東京都中央区明石町8番1号 聖路加タワー TEL: 03-5148-7100 (代表)
創立	2004年7月1日
資本金	100億円

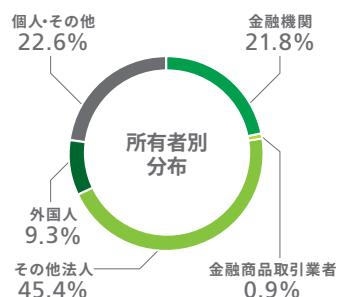
役員(2021年9月30日現在)

代表取締役社長執行役員	八馬 史尚
取締役専務執行役員	服部 広
取締役専務執行役員	佐藤 達也
取締役常務執行役員	松本 英三
社外取締役	倉島 薫
社外取締役	遠藤 陽一郎
社外取締役	新宅 祐太郎*
社外取締役	石田 友豪*
社外取締役	小出 寛子*
監査役(常勤)	小松 俊一
監査役	野崎 晃
社外監査役	武藤 章*
社外監査役	水谷 英滋*

※独立役員

株式の状況(2021年9月30日現在)

発行可能株式総数	54,000,000株
発行済株式総数	33,508,446株
株主数	22,930名



大株主(2021年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
味の素株式会社	9,053	27.1
三井物産株式会社	4,175	12.5
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	2,440	7.3
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	829	2.4
東京海上日動火災保険株式会社	828	2.4
J-オイルミルズ取引先持株会	705	2.1
株式会社みずほ銀行	542	1.6
農林中央金庫	540	1.6
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	474	1.4
三井住友海上火災保険株式会社	401	1.2

(注) 出資比率は自己名義株式166千株を控除して計算しています。

株式についてのご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日
配当金受領株主確定日	期末:3月31日/中間:9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
同連絡先	郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.j-oil.com/ir/stock_information/announcement.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に 公告いたします。)

株式に関するお問い合わせ先

当社株式を証券会社等の口座に お預けの場合

お取引の証券会社等にお問い合わせください。

当社株式を証券会社等の口座に お預けでない場合(特別口座)

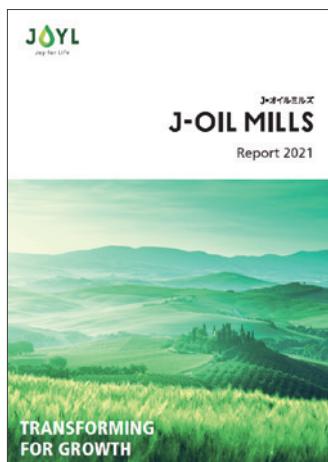
三菱UFJ信託銀行株式会社
(特別口座管理機関)
にお問い合わせください。

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

☎0120-232-711

NEWS

「J-オイルミルズレポート2021」を、
発行しました



当社の中長期的な企業価値向上に向けた取り組みを紹介することを目的にさまざまな情報を掲載しています。本誌と併せてぜひご一読ください。



https://www.j-oil.com/ir/library/Integrate_report.html

配当金のお支払いについて

第20期の中間配当金は、1株につき25円と決定いたしましたので、同封の「中間配当金領収証」により、ゆうちょ銀行全国本支店および出張所ならびに郵便局（銀行代理業者）にて、払渡期間内（2021年12月2日（木）から2022年1月7日（金）まで）にお受け取りください。

また、振込をご指定の方は、同封の「配当金振込先ご確認のご案内」により、ご指定口座への入金をご確認ください。

第20期 中間配当金 1株につき**25円**

株式会社 J-オイルミルズ

〒104-0044 東京都中央区明石町8番1号 聖路加タワー

TEL:03-5148-7100(代表) FAX:03-5148-7107

<https://www.j-oil.com/>

